

「病院内で電波を利用する医療機器の正しい使い方についてのセミナー」を開催



総務省北陸総合通信局
局長 三田 一博

北陸総合通信局(局長 三田 一博(みた かずひろ)は、令和元年9月14日(土)に福井大学医学部附属病院(福井県永平寺町)において、医療現場で電波を安全に利用する上で必要とされる基礎知識の周知を目的としたセミナーを開催し、約90名の医療機関等に従事する関係者の参加がありました。

開会にあたり、三田局長から、本セミナーの開催趣旨や医療機関における適正な電波利用の重要性等について、挨拶を行いました。

講演 I

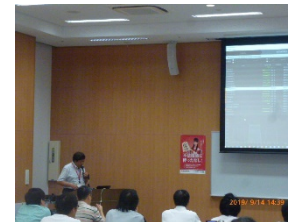
最初の講演では、福井大学医学部附属病院 医療情報部 准教授(副部長) 山下 芳範(やました よしのり)氏から、『医療機関における電波管理の必要性と対応方法について』と題して、福井大学医学部附属病院内における電波利用の実態、また、医療機関で無線LANや携帯電話等の電波利用によって医療機器等に対してどのような影響が有るのか、医用機器の使用の際にはどのような配慮が必要か、電波の混信等による障害への対策の工夫について講演されました。



福井大学医学部附属病院
医療情報部 准教授(副部長)
山下 芳範 氏

ワークショップ

講演 I の終了後、引き続き山下准教授が講師となり会場に病院内の電波環境を再現し、実際に病院で使用している医用テレメータによる干渉発生メカニズムやその対処方法を実践するなど、目に見えない電波を管理するための現場で行える方法について説明されました。また、日本光電工業株式会社及びフクダ電子株式会社の協力を得て、医用テレメータ等の医療用機器の展示と説明を行いました。



通信機器受信状況測定



医療電波機器等展示・説明

講演 II

ワークショップに続いて行われた講演では、神戸市立西神戸医療センター 臨床工学室 技士長代行 藤井 清孝(ふじい きよたか)氏から、『医療機関における安全な電波管理とその実際』と題して、医用テレメータと、西神戸医療センターで導入している徘徊感知器やカプセル内視鏡との共存の可能性を考慮した安全な電波管理について、具体的かつ安全な導入プロセスを中心に、実際の事例により課題と対策を講演されました。



神戸市立西神戸医療センター
臨床工学室 技士長代行
藤井 清孝 氏

- ※「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き」のダウンロードはこちら
⇒ 電波環境協議会のホームページ <https://www.emcc-info.net/info/info280404.html>
- ※ e-Learning 教材(基礎編、応用編)
⇒ 電波環境協議会のホームページ <https://www.emcc-info.net/info/info300410.html>

<お問い合わせ先>

無線通信部監視調査課
076-233-4441